

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (R 4 - 3 号)

令和4年6月17日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和4年6月16日に三河湾において貧酸素水塊の調査が実施されました。その結果は以下のとおりです。

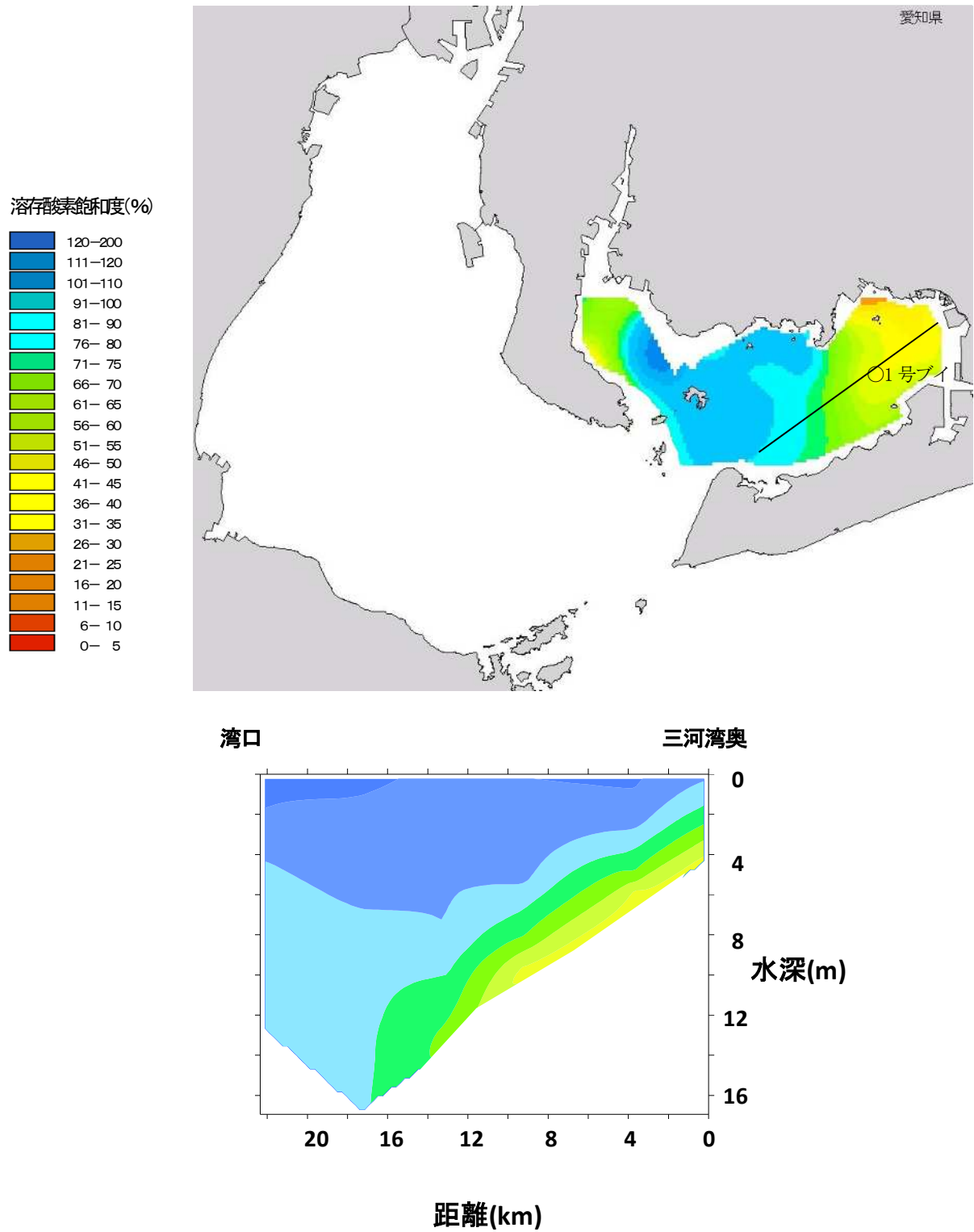


図1 三河湾（6月16日）底層の溶存酸素飽和度の分布（上図）及び上図直線部分の鉛直分布（下図）  
（愛知県「へいわ」調査）

### 三河湾

6月16日の調査結果を図1に示しました。渥美湾の湾奥（蒲郡沖）の一部で溶存酸素飽和度が30%以下の貧酸素水塊が見られました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）のデータをみると、8日以降、底層付近のごく薄い層で貧酸素水塊が確認されていましたが、14日以降はほぼ解消しています。13～14日にかけて蒲郡で最大瞬間風速10m/s前後の東風が吹いていたことから、海水が鉛直混合し、貧酸素水塊が一時的に解消していると考えられます（図2）。

14日に梅雨入りしたことから、今後は降雨に伴う表層の塩分低下と、水温上昇により成層が発達し、下層で貧酸素水塊が拡大すると思われます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	20.8～23.4	27.0～31.3
底層	20.1～21.5	30.9～32.4

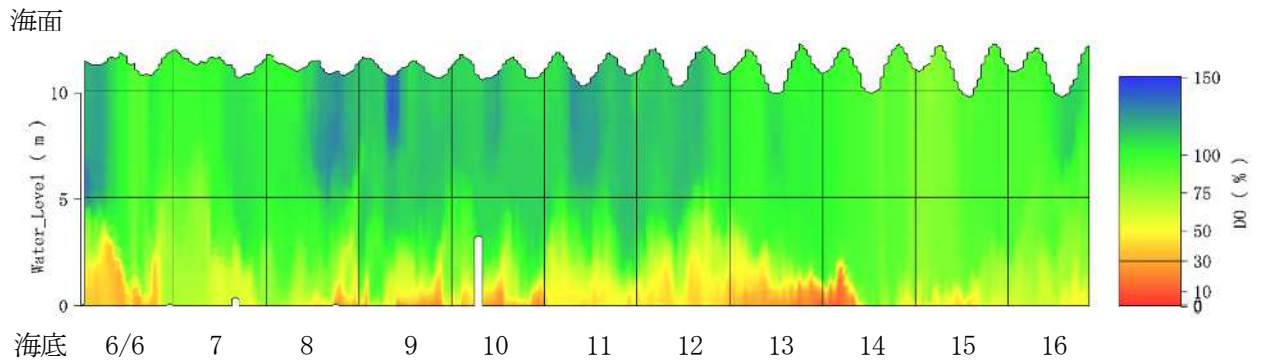


図2 溶存酸素飽和度 (DO) の経時変化 (三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ)

### 参考

前回調査時の両湾底層の溶存酸素状況

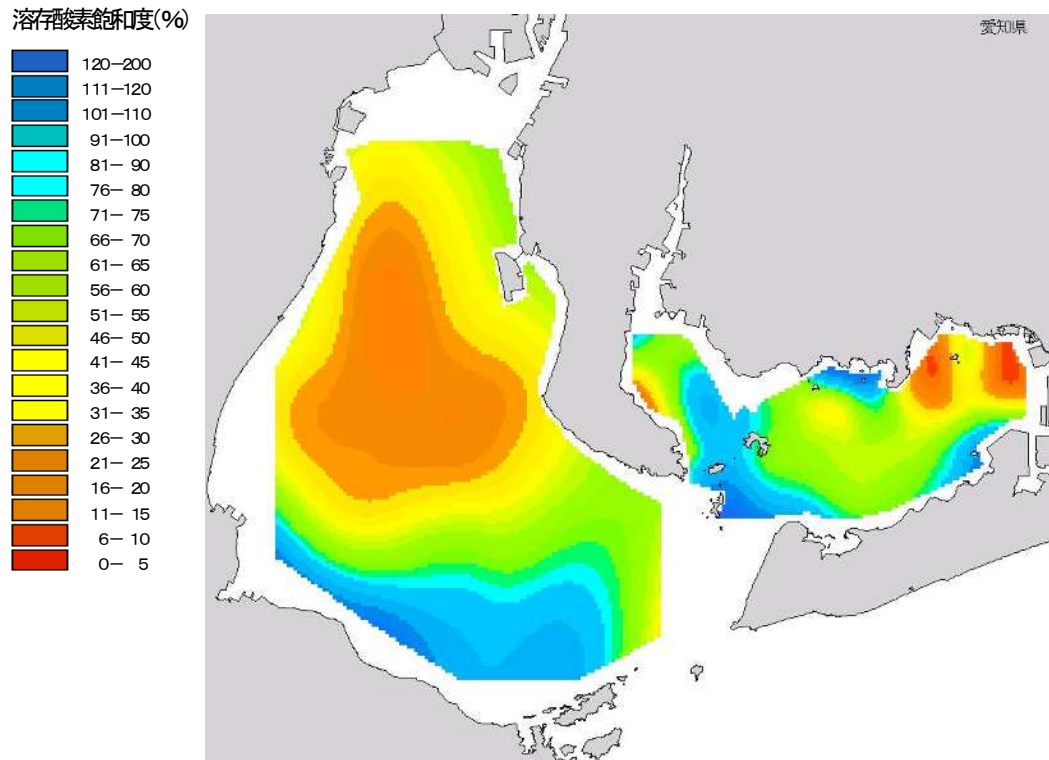


図3 令和4年6月8日 (伊勢湾)、6月2、3日 (三河湾)